

日伯親善提
携の意義

言論

命に在りと言ふことが出来
るであらう。

△

生活必需の資材は穀物、

棉花、畜産を最とするは言
ふまでもない。

△

現代の政治家が是れ等生
活必需の資材の生産増殖に

苦心し、なる從來の國產物

を第二に置かんとするの傾

向を示し來れるが如きは、

國の使命と相容ざる姫が

ある、英米獨佛その他諸國に

代りて人間至上の文明を

詔海外發展とは、實は世界

人類終來のためであると言

ふる、世界を擧げて平和欲

求の叫びを揚ぐる時、世界

住民勵論如きおや。

△

日本に於ける十年一日の如

き海外發展の念佛——單

に人口經濟問題を基調とす

る、蓋し日伯兩國の和親提

議は則ち靈肉一如の新文明

を生みん爲めにして、之

が世界人類向上進歩の先

驅たること、何んぞ俄に日

伯兩國の誇と言はんや彼の

幸であり、世界の誇りであ

る、蓋し日伯兩國の和親提

議は則ち靈肉一如の新文明

を生みん爲めにして、之

が世界人類向上進歩の先

驅たること、何んぞ俄に日

内的生活の 低調墮落

洋の東西と時代の今昔とを問はず一脈の歴史の跡を點検して見る。思想は勿論、社會も政治も、人間の生活を通じて創造のない事實を知る。あらう、換言すれば、創造は必ず激進によりて生れるが如き、超國家的思想、そのユートピアが破産へ至る。それが實証される、新興イタリアはダントンの雄渾なる思想を背景として、伊太利統一を高唱するムツソリの如き熱烈英國の志士が躍出したことに於いて創造された、同様新獨逸も亦カントの如き、

具体的に云へばナポレオンの時代に於いては、當時の青年が殉國に意氣溌濶たるヒットラーの紅血を以て勝利の貴き代價ではなかつたか、又近づくは吾人の眼前に未だ生々しきプローバとして、所謂昭和維新の断行として、五一事件との如く走馬燈の如く遡りさる出来事の如きは、要するに、最も嚴肅なる内的生活に於てのみ経験することの出来る戀愛、愛によりて體現すべからざる、而して最も純真なる精神生活に發動する。何者と雖も求め得べき世界は、何に起因してゐるかを知ることが出来ると思ふ。

顧みに我國有史以來三千

年形式上の文明が如何に進歩したりとづても、その

尊嚴な内的生活が低調、墮落した事、今日の如きは未だ曾て之を見ることが出来ぬ、此の意味に於て所謂昭和維新的断行を叫びて、所謂の内情と敬意を表すに際しては、體現する熱愛を外にしては體現する事が不可能である。然も激進の如きは、西洋の思想に病化すると、大日本皇國が貪存する

三帝備嗣あらざる時は帝孫に傳ふ、帝嗣及びその儲孫皆あらざる時は帝

一萬九百三十人、帝の男系子孫たる男子之

は日本天皇陛下の御補佐を得られを繼承す

（全部脱字）

承法を發表した。

國民草はもちろん日本國のものである。

本日左の満洲國帝位繼承

は、本邦の御補佐を得られを繼承す

る。

（新東京日報）満洲國政府

は、本邦の御補佐を得られを繼承す

る。

